

分野：②

「校庭にツミやオオムラサキの棲む学校ビオトープを創ろう」

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立西富小学校 1年（62人）

所要時間



1時間20分

場所 所沢市立西富小学校

実施時期

令和2年12月11日

概要

校庭の一角に地域の野生の生きものが棲める学校ビオトープを創る
 ビオトープの目標種はツミとオオムラサキ
 水辺と林と草地を創る
 できるだけ子ども達の手で、創るだけでなく継続性をもつ

プログラムの
ねらい

全校児童が参加して地域の自然を守り育てる。
 1年生は多様な生き物が棲めるように林のビオトープに樹木と野草を植える。
 スコップを使って穴を掘り、用意した樹木と野草を植え、水鉢を作り、水をあげる。
 出来上がった池の生きもの調べ

プログラムの内容

1 ビオトープの意義と役割（5分）1クラス40分授業を2クラス

なぜビオトープを創るのか

スコップとシャベルの使い方、注意すべき点

2 植樹（20分）

スコップで穴を掘り、苗木を運び、植える。植えた苗の周りに水鉢を作り、バケツで運んだ水をあげる。竹の支柱を添え、シュル縄で結ぶ。

シャベルで穴を掘り野草を植える。

3 池の生きもの調べ（10分）

池の水の中をよく観察する。

池の生きものの観察する

4 活動を振り返る（5分）

作業前と後の様子を観察する。全員で集合写真



受講者の反応

木を植えて色々な虫が来てくれると嬉しい。草も植えたので蝶々も増えてくれるといいです。春になったら色々な木に葉っぱがつくから楽しみです。池に動く生き物が見えたので楽しみ。早く草に花が咲いてくれるといい。カエルが卵を産みに来てくれるのが楽しみです。オタマジャクシがいっぱいになったらどうしよう。鳥が水を飲みに来てくれるかも。植えた木と草が元気になってほしい。